

てんびんガイドだより



近江八幡観光ボランティア
ガイド協会 広報部発行
お問合せ
近江八幡駅
北口観光案内所
0748-33-6061
協会:HP/QR



“ようおこしやす。まあ、ゆっくりしていかなせいな”

淡海観光ボランティアガイド連絡協議会 令和7年度交流研修会開催

日時：令和7年6月4日（水）12時30分開会

会場：木之本スティックホール

運営：奥琵琶湖観光ボランティアガイド協会

今年の交流会は、湖北ブロックの担当で、エリアが広く3会場からの選択でした。当協会はアンケートにより全員奥びわ湖会場となりましたが、その中でも4コースの選択があり、どれも魅力的で、選ぶのに迷いました。

会場の木之本スティックホールでは、奥びわ湖観光ボランティアガイド協会の活動内容が紹介されました。創立13年、会員数55名とのことで、学校支援活動や、規模など当協会と重なる点も見受けられました。また、JRふれあいハイキングについては、年36本、約800人のお客様をご案内しているということでした。広く豊かな自然と風土に恵まれた土地柄としての違いはありますが、当協会も同じくJRふれあいハイキングを実施していますので、その数の多さは驚きでした。

その後の4つの選択研修コースでは、私は西野水道



西野水道

と観音様参拝を選択しました。高月町西野一帯は、地形から度々洪水の被害を受け飢饉に見舞われました。そこで、江戸時

代末期に村人たちが一丸となって田畑を守るため、排水用の岩穴として琵琶湖に向かって山をくり貫いたのが、西野水道です。重機のない時代に堅い岩盤を磁石で方向を探りながら、3年間一日も休まず掘り続け、とうとう完工しましたが、村は莫大な借金と疲弊、貧困に陥ったとのこと。

長靴、ヘルメット、ライトを準備していただいでいて、この洞窟のようなトンネルを探検隊のようにそろりそろりとくぐり抜けました。トンネルを抜けると目の前に琵琶湖が広がっていました。薬師堂では、十一面観音立像と薬師如来立像を拝観し、隣のお堂では大変珍しい千手千足観音を拝観いたしました。村人たちが長年大切に守り続けてきた仏像のお姿を間近に目にすることができて、とてもありがたい気持ちになりました。



賤ヶ岳リフト



お天気に恵まれ、皆様と一緒にマイクロバスに乗り、無事に楽しく研修できたことを大変うれしく思っています。

- 現地研修
- Aコース 北国街道木之本宿散策
 - Bコース リフトで登る賤ヶ岳
 - Cコース 余呉湖周辺と決戦地巡り
 - Dコース 西野水道と観音様拝観

報告 事業運営部 内池教子

賤ヶ岳 湖北を一望



近江八幡はガイドの案内で八万倍面白い ガイド養成講座開催

ガイド養成講座は2018年から開始し、現在までに16名の方々が入会されています。

今年は、協会の退会者が多く危機感もあり多数の人に受講して頂くために、市広報に掲載のお願いと、会長及び広報宣伝副部長と共に新聞社に掲載依頼をしてきました。当初は申込者が無く心配していましたが、最終的に男性2名、女性1名の申込者が有り、2名が案内チラシ、1名は滋賀報知新聞を見て申し込みを頂きました。

7月6日のオリエンテーションでは「協会の説明及び協会会則の説明」等を実施しました。

7月14日は「ガイドマニュアルの説明」と、ガイド部

教育担当の宮津さんによる「小幡駐車場～日牟禮八幡宮約1時間の実ガイド研修」をしました。

7月20日は「トライアル研修/小幡駐車場から新町通りを通り八幡堀までの約30分の行程」を実施しました。今回は、話の内容ではなく、お客様への接遇及び声出しを目的としての研修でした。

暑い中ではございましたが、無事終了することが出来ました。皆さんは熱心に受講されていました。

今後の同行研修等を無事に終えて正式のガイドとして、頑張っていたきたいと思います。先輩ガイドの皆様もご協力のほどよろしくお願いいたします。

ガイド部長 松本三郎

新入会員挨拶



齊藤 広司

はじめまして、齊藤広司と申します。2019年に近江八幡に移り住み、中村町の竹松商店で主に提灯弓の製造に携わっております。

前職は京都で3年間、竹垣職人の見習いをしておりました。

白雲館への納品、八幡まつりの青竹納品と氏子会のボランティア参加、八幡堀まつりの設営を通じて地元の魅力にふれ、ガイドの皆様のご存在も知りました。

そんな近江八幡を“地元”にしたいので、ボランティアガイドとして永く関わっていけたらと思っております。普段は会社勤めのため限られた活動になりますが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



梅村 優子

はじめまして、この度ボランティアガイドに参加させていただくことになりました梅村優子と申します。

リタイア後の活動として以前よりボランティアガイドに興味がありました。

ただ、皆さんがどのような活動をされ、ガイドとなるためにどれだけの勉強や研鑽を積まれているかも分からずに「養成講座のお知らせ」を見て応募させていただいたものですから、実ガイドになる為の指導や研修がどんどん進んでいくことに少々戸惑っています。あと一年余り仕事もあり、どれだけ皆さんのお役に立てるか不安ですが、できるだけ頑張っついて行こうと思っておりますのでどうかご指導よろしくお願いいたします。

入会にあたり 板山 敬介



板山 敬介

湖西の堅田で生まれ育った私が見ていた近江八幡は、近江商人・長命寺・沖島でした。

小学生の頃は、堅田港から巡礼者を運ぶ定期船があり、長命寺山を遠くに眺め思いを馳せておりました。また、沖島周辺の豊かな漁場は堅田漁師が羨望した漁場であることも聞いておりました。さらに、近江八幡との縁が、職場においても繋がりました。勤務先が、東京・日本橋室町にあり、近江商人をルーツとした繊維会社・商社やその社員が取引先でした。定年後、妻の故郷である近江八幡に帰郷し、現在に至っております。このようなご縁がある町で、ガイドとしてはまだまだ微力ではありますが、観光等で来られた方に、良い思い出を残して頂けるよう目指してまいります。

バンザイなこっちゃん ヴォーリス来日120年記念 “これまでをふり返り、これからを思う”

近江八幡観光物産協会/ヴォーリス来日120年記念事業「バンザイなこっちゃん協議会」事務局長 田中 宏樹

ヴォーリスさんの歩みを見聞きすれば、心の中に元気や勇気が湧いてくる、その感動を誰かに伝えたい、多くの方がそんな思いになるはず。しかしながら、近江八幡の名誉市民第1号のヴォーリスさんを顕彰する取り組みは、昔から、続いてきたものではありませんでした。これまでは、民間企業のPRだとか、宗教者であるとか、何となくの雰囲気というか見えない壁が存在し、近江兄弟社のヴォーリスさんではあっても、近江八幡市のヴォーリスさんではありませんでした。

その転機となったのは、1994年（近江八幡市制40周年）、ヴォーリスシンポジウム（計3回）、その後、1997年ヴォーリスの生誕地であるレブンワース市との兄弟都市提携、1999年ヴォーリス像の除幕などで次第に、その輪が大きくなり、旧豊郷小学校の保存問題により、全国にその名が知られることとなります。

ある時、九州からやってきた男性から「ヴォーリス

建築を訪ねて来たが、一軒も（予約なし）で見られない」と簡単に言うならば苦情を受けたことがあります。のりくりとした事情の説明を遮るように「言い訳は分かったが、あなたそれを改善しようとしているのか？」と詰問され、ふと、我に返ったというか、考えさせられたことが、2013年より今も続く特別公開の実施に至りました。

ボランティアガイド協会さんの協力は得られたものの、人は来るのか？ すぐに終わるのでは？ そろそろ飽きられる？ そんな不安を抱えながら10余年、特別公開はもはや通常事業として定着しています。

振り返ってみれば、前を向きながらの試行錯誤の取り組みとその蓄積により前進してこれたのではないかと感じています。この歩みの先には、連続テレビ小説の放映決定！の朗報もあるはずですし、もっと楽しく素晴らしいことが待っているはずです。

これからも、皆さんとともに「バンザイなこっちゃん！」を共有し広げて行きたいと思います！



ヴォーリス来日120年記念事業「バンザイなこっちゃん協議会」はNHKへ訪問し、連続テレビ小説への取上げを要望しました（2025年3月）



八幡堀の散策 第3弾

7月20日広報部主催の前川さんによる「八幡堀を散策しませんか？」第3弾が実施されました。参加者は26名と大盛況でした。始めに白雲館内で今回のテーマ「小堀遠州について」小堀遠州は一般的には、高名な茶人・作庭家として有名ですが、それだけではなく幕府の役人として、近江八幡など各地の奉行所に赴任し、町づくり・城づくりに活躍しました。また、文化面でも茶道における「遠州流」の開祖であり、書画にも秀いでた

文化人でした。近江八幡との関わりについて、朝鮮通信使の接待や古式水道に関わったことが推測されます。

前川さんは「小堀遠州は“忙しさは、ヴォーリスさんと同じや!”」と何回も言われました。続いて少しの時間でしたが、白雲館の外に出て白雲橋近くにある常夜灯について、続けて日牟礼八幡宮の玉垣について説明がありました。今回も新しい知識や情報が満載の散策でした。

本当に前川さんありがとうございました。感謝！ 広報宣伝部 堀場 康治



“かんぱ〜い” 恒例の納涼祭開催



7月26日(火)連日猛暑の中、納涼祭が事業部の主催で白雲館にて開催されました。

来賓の皆様・参加者を交え総勢57名余りで会長の挨拶、来賓の方々の挨拶をいただきました。乾杯に始まり、いつもながら大変賑やかで、会員同士の楽しい会話となりました。今年初めて立ち上げられた『納涼楽団』の演奏「ウクレレ・よし笛・タテ箏・クロマティックハーモニ

カ・トランペット」の演奏に合わせて、参加者全員で「ふるさと」(文部省唱歌)、「琵琶湖周航の歌」を合唱し大変盛り上がりました。特にトランペットの演奏も素晴らしかったです。恒例のビンゴゲームでも盛り上がり、各自にいろいろな景品が当たりました。最後に、前川様の懐かしい「ろばのパン屋さん」の歌から“チンカラリン チンカラリン”の歌を歌いながらの踊りに始まって、八幡商人の声掛けの物まね等が飛び出て大いに盛り上がりました。最後に事業部の皆様ありがとうございました。



広報宣伝部 中村 保